

日興USグローイング・ベンチャーファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第9期(決算日2023年9月11日)

作成対象期間(2022年9月13日～2023年9月11日)

第9期末(2023年9月11日)	
基準価額	22,058円
純資産総額	5,642百万円
第9期	
騰落率	12.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興USグローイング・ベンチャーファンド」は、2023年9月11日に第9期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<654353>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月13日～2023年9月11日)



期 首：19,684円

期 末：22,058円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：12.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・生成AI(人工知能)の更なる普及に対する期待感からハイテク銘柄が選好されるなか、情報技術セクターで保有する銘柄の株価が大きく上昇したこと。
- ・2023年において、為替市場で円安が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・2023年3月、米国の銀行破綻が相ついだことや欧州の銀行の経営危機などを受けて、金融システムに対する不安が強まり株式市場に下落圧力がかったこと。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月13日～2023年9月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	363	1.887	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(179)	(0.932)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(169)	(0.878)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.077)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.015	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.015)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.048	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(6)	(0.031)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	375	1.950	
期中の平均基準価額は、19,240円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

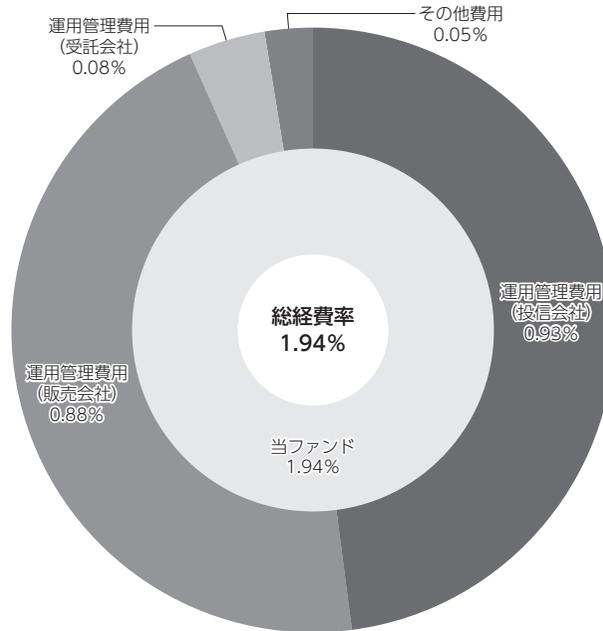
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月10日～2023年9月11日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月10日 決算日	2019年9月10日 決算日	2020年9月10日 決算日	2021年9月10日 決算日	2022年9月12日 決算日	2023年9月11日 決算日
基準価額 (円)	15,259	14,113	15,860	21,852	19,684	22,058
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	100	100	100	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 6.9	13.1	38.4	△ 9.5	12.1
純資産総額 (百万円)	11,238	7,647	5,969	7,405	5,874	5,642

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月13日～2023年9月11日)

(米国株式市況)

期間中の米国株式市場は、米国連邦準備制度理事会（F R B）の金融政策およびインフレ動向といったマクロ要因に大きく左右される展開となりました。期間の初めの2022年9月にはF R Bが米国連邦公開市場委員会（F O M C）において0.75%の利上げを実施して、タカ派（インフレ抑制）的な姿勢を継続したことから株式市場は大きく下落しました。その後10月以降はF R Bが年内にも利上げペースを減速させるとの見方が台頭して株式市場は大きく反発しましたが、12月には米国景気の減速により企業業績に対する懸念が強まったことなどを受けて株式市場は下落しました。

2023年に入ると、インフレ率のピークアウト見通しからF R Bが利上げペースを緩めるとの見方が強まり、株式市場は上昇基調に転じたものの、3月にシリコンバレー銀行などが経営破綻し、欧州でクレディ・スイスの財務の健全性に対する警戒感が高まるなか、影響が金融システム全体に波及するリスクが意識される形で株式市場は一時調整しました。しかしその後の金融当局の迅速な対応を受けて、大規模な金融システムリスクにつながることはないとの見方から市場に安心感が広がるなか、株式市場は反発に転じました。その後もインフレ率の鈍化傾向が意識され、F R Bによる利上げ打ち止めも近いのではとの見方が強まったほか、生成A I関連産業への期待が高まったことから、ハイテク株が主導する形で株式市場は堅調に推移しました。6月にはF R Bによる追加利上げが一時的に見送られたものの、年内にあと2回の追加利上げの可能性が示唆されたことで、米国景気のソフトランディングに対する期待が高まり、投資家のリスク選好姿勢が強まったことを受けて株式市場は上昇基調が継続しました。8月に入り、利食い売りの動きから軟化したものの、期を通じて株式市場は大きく上昇する展開となりました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月13日～2023年9月11日)

(当ファンド)

当ファンドは、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(USグローイング・ベンチャーマザーファンド)

当ファンドでは、ボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれる企業に注目して運用を行ないました。

期間中、情報技術セクター、資本財・サービスセクター、一般消費財・サービスセクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。特に、株価上昇の余地が高いと判断した情報技術セクターなどの銘柄については積極的な姿勢で臨みました。一方で、公益などのセクターについては消極的な姿勢を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月13日～2023年9月11日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2022年9月13日～2023年9月11日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2022年9月13日～ 2023年9月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,058

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(USグローイング・ベンチャーマザーファンド)

2023年6月の米国FOMCでは、2022年3月以来の利上げ局面で初めて利上げが見送られたものの、7月には利上げが再開され、年内に追加利上げが行われると見込まれていることもあり、2023年後半から2024年にかけての景気後退懸念が引き続き大きな関心事となっています。インフレが2%台で落ち着くまでには時間を要するため、高い金利水準が長期にわたり続くことによる影響については引き続き注視しています。

しかし、こうしたマクロ要因による株式市場の調整局面においても、今後の世界を大きく変え得る技術進化は継続しており、将来有望な技術を持つ企業の本源的価値は株価調整とは関係なく上昇しているものと考えています。現在の不便で非効率になりつつある世界において、そういった問題を解決もしくは緩和できる新しいテクノロジーの価値は上昇しているとの考えに確信を強めています。

米国の景気見通しやFRBの金融政策など、依然として不透明な要因があるものの、このような局面では個別銘柄選択がより一層重要になります。外部環境に関係なく、個別銘柄ベースでは魅力的な投資対象は存在し、アクティブ運用の利点を活かせると考えています。外部環境によって大きく変化する市場センチメント（心理）に左右されることなく、各企業のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）とバリュエーション（株価評価）を重視した銘柄選択を継続することをめざします。

引き続きボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

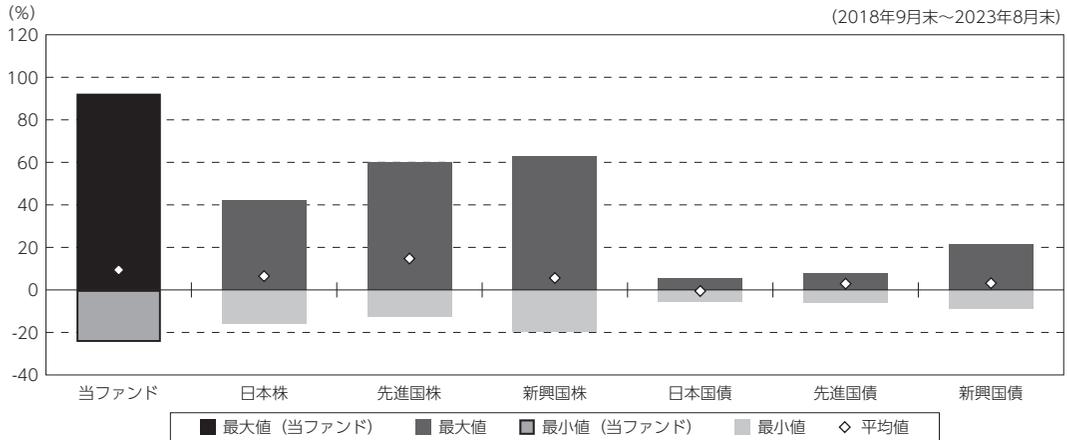
2022年9月13日から2023年9月11日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年10月1日から2024年9月10日までです。	
運用方針	主として、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興USグローイング・ベンチャーファンド	「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	USグローイング・ベンチャーマザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	92.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 24.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	9.4	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月11日現在)

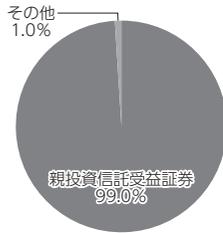
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
USグローイング・ベンチャーマザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

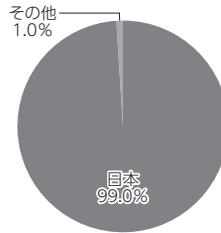
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

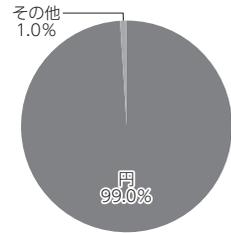
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第9期末
	2023年9月11日
純資産総額	5,642,158,799円
受益権総口数	2,557,839,605口
1万口当たり基準価額	22,058円

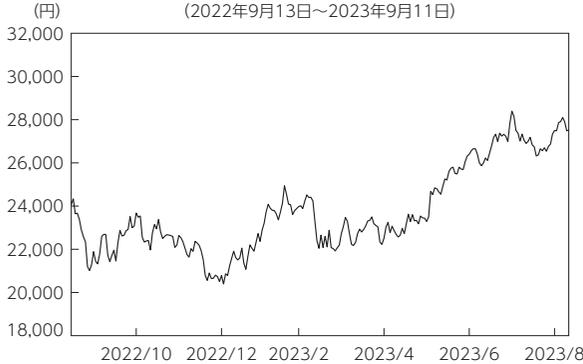
(注) 期中における追加設定元本額は120,784,610円、同解約元本額は547,241,469円です。

組入上位ファンドの概要

USグローイング・ベンチャーマザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年9月13日～2023年9月11日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年9月13日～2023年9月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.015 (0.015)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
合 計	7	0.028

期中の平均基準価額は、23,763円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

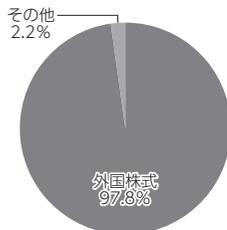
【組入上位10銘柄】

(2023年9月11日現在)

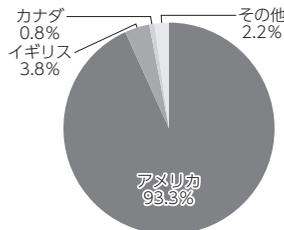
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	AIRBNB INC-CLASS A	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	9.2
2	UBER TECHNOLOGIES INC	運輸	アメリカドル	アメリカ	8.2
3	CARRIER GLOBAL CORP	資本財	アメリカドル	アメリカ	6.1
4	DOW INC	素材	アメリカドル	アメリカ	5.0
5	OTIS WORLDWIDE CORP	資本財	アメリカドル	アメリカ	4.8
6	CORTEVA INC	素材	アメリカドル	アメリカ	3.8
7	WYNDHAM HOTELS & RESORTS INC	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	3.7
8	TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	3.7
9	MONGODB INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.3
10	AZEK CO INC/THE	資本財	アメリカドル	アメリカ	3.0
	組入銘柄数		42銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

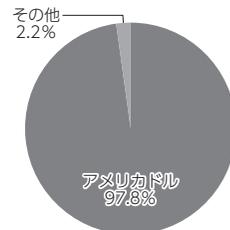
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。